

法人名 医療法人 花咲会

※医療法人整理番号

所在地 神奈川県川崎市宮前区犬蔵二丁目25番9号

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	1,096,969,794	I 流動負債	910,759,870
現金	7,394,063	買掛金	33,235,576
普通預金	392,628,308	未払金	88,071,480
医療未収金	311,260,858	短期借入金	276,060,000
施設運営事業未収金	314,095,025	預り金	26,951,685
未収金	21,755,453	職員預り金	13,059,096
医薬品	2,227,302	未払費用	102,793,759
給食材料	421,503	未払消費税	5,016,500
貯蔵品	7,624,609	未払法人税等	966,000
前払費用	44,831,154	賞与引当金	101,613,774
立替金	1,307,211	1年内借入金	262,992,000
貸倒引当金△	6,575,692	II 固定負債	5,155,512,433
II 固定資産	3,846,608,796	長期借入金	4,042,828,000
1 有形固定資産	3,791,822,062	役員従業員長期借入金	800,000,000
土地	831,216,323	リース債務	87,149,934
建物	2,989,810,092	退職給付引当金	225,534,499
建物減価償却累計額	798,888,082	負債合計	6,066,272,303
建物付属設備	2,031,042,920	純資産の部	
付属設備減価償却累計額	1,467,728,493	I 出資金	348,261,536
構築物	180,904,949	II 積立金	-1,470,955,249
構築物減価償却累計額	122,258,898	繰越利益積立金	-1,470,955,249
医療用器械備品	287,822,755	(うち当期利益(損失))	8,984,420
医療器械減価償却累計額	262,816,994		
その他器械備品	153,471,913		
他器械減価償却累計額	116,883,589		
車両及び船舶	4,335,328		
車両減価償却累計額	200,022		
一括償却資産	2,606,975		
リース資産	79,386,885		
2 無形固定資産	8,962,430		
ソフトウェア	2,443,830		
入会金	5,558,600		
権利金	960,000		
3 その他の資産	45,824,304		
長期前払費用	4,954,290		
敷金保証金	37,518,100		
繰延消費税等	3,251,914		
その他固定資産	100,000		
資産合計	4,943,578,590	純資産合計	-1,122,693,713
		負債・純資産合計	4,943,578,590

法人名 医療法人 花咲会

所在地 神奈川県川崎市宮前区犬蔵二丁目25番9号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和 2年 4月 1日 至 令和 3年 3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		3,954,764,650
2 事業費用		
(1) 事業費用	4,058,316,552	
(2) 本部費用		4,058,316,552
本来業務事業損失		103,551,902
事業損失		103,551,902
II 事業外収益		
受取利息配当金	4,065	
補助金収益	127,370,249	
利用者等外給食収益	13,514,388	
他施設運営事業外収益	93,743,331	234,632,033
III 事業外費用		
支払利息	89,349,293	
利用者等外給食委託費	31,727,924	121,077,217
経常利益		10,002,914
IV 特別利益		
その他の特別収益	4,758,012	4,758,012
V 特別損失		
固定資産除却損	8	
その他の特別損失	4,810,498	4,810,506
税引前当期純利益		9,950,420
法人税・住民税・事業税	966,000	966,000
当期純利益		8,984,420

個 別 注 記 表

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1. 継続事業の前提に関する事項

該当なし

2. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券

・時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法) による。

・時価のないもの 移動平均法による原価法

(2) たな卸資産 最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法によっております。但し、平成 10 年 4 月以降取得した建物および平成 28 年 4 月以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法を採用しております。なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2) 無形固定資産

定額法によっております。ソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5 年以内) に基づいています。

(3) リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法 (退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法により計算し、計上しております。

(3) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、発生から 3 年を超える債権については回収可

能性がないとして、全額引当金を計上しております。

5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

6. 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当なし

7. 担保に供されている資産に関する事項

担保に供している資産

建 物	2,989 百万円
土 地	831 百万円
計	3,820 百万円

上記に対する債務

1 年内返済予定借入金	262 百万円
長期借入金	4,042 百万円
計	4,304 百万円

8. 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
役員及びその近親者	山本 芳子	当法人理事	借入	運転資金の借入 (注1)	800	役員従業員長期借入金	800
			支払利息	支払利息 (注1)	20	支払利息	20
			債務被保証	当社銀行借入に対する債務被保証 (注2)	1,764	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 当法人の運転資金の不足において資金の融通を受けている、なお、借入条件は、返済期限令和12年一括返済、借入利率年2.5%
(銀行長期固定ローン金利を参考)としている。

(注2) 当法人はシンジケートローン(主幹事みずほ銀行)の借入に対し、理事山本芳子より債務保証を受けている。なお、保証料の支払いは行っていない。

法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (百万円)	事業内容	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
役員が支配している法人	株式会社ホンザン	神奈川県横浜市緑区中山町	4,769	医薬品卸業	借入金 (注3)	借入金	750	長期借入金	—
					支払利息 (注3)	支払利息	17	支払利息	17

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注3) 当法人の運転資金の不足において資金の融通を受けている、なお、借入条件は、返済期限令和12年一括返済、借入利率年2.5%
(銀行長期固定ローン金利を参考)としている。

9. その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 2,768 百万円

(2) 財務制限条項

借入金のうち、1年内返済予定の長期借入金 262 百万円及び長期借入金 1,764 百万円のシンジケート・ローンについては財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおりであります。

① 2013年3月期決算（当該期を含む）以降、各年度の決算期の末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額を正の値に維持すること。

② 2013年3月期決算（当該期を含む）以降、各年度の決算期における単体の損益計算書に示される経常損益が、2期連続して損失とならないようにすること。但し、2015年3月期決算を除く。

(3) 債務超過について

①債務超過の継続

下記のとおり、2016年3月期から6期連続して債務超過となっており、2021年3月期末現在、△1,123百万円の債務超過となっています。

【貸借対照表】（一部抜粋）

単位：百万円

会計年度	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
借入金 （内役員長期借入金）	5,872 (90)	5,793 (590)	5,883 (500)	5,183 (600)	5,083 (800)	5,104 (800)
純資産の部	△53	△161	△701	△1,033	△1,141	△1,123

②債務超過の要因

下記のとおり、経営成績の悪化によるものであります。

【損益計算書】（一部抜粋）

単位：百万円

会計年度	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
事業収益	3,416	3,691	3,723	3,755	3,926	3,955
事業費用	3,990	3,874	3,890	4,040	4,070	4,058
事業利益	△573	△183	△166	△284	△144	△103
(参考)						
金利償却前利益 （内減価償却費）	498 (400)	392 (302)	219 (291)	93 (283)	94 (206)	229 (219)
元金返済額	231	399	399	399	399	328

事業利益は赤字基調なるものの、金利償却前利益は継続的に黒字を確保しております

が、当初建設費の償却負担が重くのしかかっています。また、かわさき記念病院の患者確保の難しさが挙げられます。300床の認知症病院で利益を出すには、高稼働、高点数が求められます。今後は、紹介元の病院や施設などのエリアを拡大し、より一層の積極的な営業活動をします。また、グループのメリットを使って、採用の難しい専門職も内部から異動し増収策を実行します。花咲会はもちろん、横浜メディカルグループの最重要経営対策事項としてかわさき記念病院の経営改善に取り組んでいく所存です。

③経営者保証

「8. 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項」に記載の通り、当法人の社員兼理事である山本芳子氏より運転資金の融資を受けるとともに、当法人の銀行借入に対して債務保証を受けております。

(4) 合併に関する追加情報

2021年1月29日開催の社員総会において、当法人と医療法人三星会は以下の通り合併することを決議いたしました。

合併の概要

①合併当事法人の名称

医療法人花咲会（理事長 山本登）

医療法人三星会（理事長 山本登）

②合併の時期

2022年2月1日（予定）

③企業結合の法的形式

医療法人三星会を存続法人とし、当法人を消滅法人とする吸収合併であります。

④合併後法人の名称

医療法人三星会

⑤合併の目的

横浜メディカルグループの企業価値の維持・向上及び経営資源の統合・集約による経営効率の向上を図ることを目的としております。

法人名 医療法人 花咲会
 所在地 神奈川県川崎市宮前区犬蔵二丁目25番9号

※医療法人整理番号

貸借対照表
 (令和2年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	892,878,031	I 流動負債	982,345,782
現金	5,324,375	買掛金	37,242,345
普通預金	194,813,705	未払金	75,227,585
医療未収金	332,036,551	短期借入金	299,900,000
施設運営事業未収金	316,467,031	預り金	29,508,269
未収金	6,061,231	職員預り金	11,894,036
医薬品	2,301,396	未払費用	100,070,629
給食用材料	663,460	仮受金	16,548
貯蔵品	7,207,049	未払消費税	5,089,100
前払費用	31,590,332	未払法人税等	966,000
立替金	1,650,131	賞与引当金	93,439,270
貸倒引当金△	5,237,230	1年内借入金	328,992,000
II 固定資産	3,966,181,806	II 固定負債	5,008,392,188
1 有形固定資産	3,915,146,885	長期借入金	3,955,820,000
土地	831,216,323	役員従業員長期借入金	800,000,000
建物	2,989,810,092	リース債務	44,879,650
建物減価償却累計額	724,236,201	預り保証金	398,907
建物付属設備	2,028,191,420	退職給付引当金	207,293,631
付属設備減価償却累	1,382,875,952	負債合計	5,990,737,970
構築物	180,904,949	純資産の部	
構築物減価償却累計	117,287,711	I 出資金	348,261,536
医療用器械備品	285,139,123	II 積立金	-1,479,939,669
医療器械減価償却累	248,340,295	繰越利益積立金	-1,479,939,669
その他器械備品	135,925,281	(うち当期利益(損失))	-98,266,096
他器械減価償却累計	106,289,237		
一括償却資産	1,850,534		
リース資産	41,138,559		
2 無形固定資産	7,358,600		
ソフトウェア	720,000		
入金	5,558,600		
権利金	1,080,000		
3 その他の資産	43,676,321		
有価証券	100,000		
長期前払費用	4,300,000		
敷金保証金	37,378,100		
繰延消費税等	1,898,221		
資産合計	4,859,059,837	純資産合計	-1,131,678,133
		負債・純資産合計	4,859,059,837

法人名 医療法人 花咲会
所在地 神奈川県川崎市宮前区犬蔵二丁目25番9号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		3,926,615,265
2 事業費用		
(1) 事業費	4,060,916,004	
(2) 本部費		4,060,916,004
本来業務事業損失		134,300,739
事業損失		134,300,739
II 事業外収益		
受取利息配当金	3,846	
補助金収益	65,551,146	
利用者等外給食収益	14,254,667	
他施設運営事業外収益	89,986,572	
修繕積立戻入額	3,279,200	173,075,431
III 事業外費用		
支払利息	94,862,934	
修繕積立繰入額	3,279,200	
利用者等外給食委託費	33,078,219	
雑損失	500	131,220,853
経常損失		92,446,161
IV 特別利益		
その他の特別収益	6,277,312	
諸引当金戻入	4,243,000	10,520,312
V 特別損失		
その他の特別損失	10,137,017	
諸引当金繰入	5,237,230	15,374,247
税引前当期純損失		97,300,096
法人税・住民税・事業税	966,000	966,000
当期純損失		98,266,096

個別注記表

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1. 継続事業の前提に関する事項

該当なし

2. 資産の評価基準及び評価方法

(1)有価証券

その他有価証券

・時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部資本直
入法により処理し、売却原価は移動平均法)による。

・時価のないもの 移動平均法による原価法

(2)たな卸資産 最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっております。但し、平成10年4月以降取得した建物および平成28年4月以降に
取得した建物付属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2)無形固定資産

定額法によっております。ソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年以内)に
基づいております。

(3)リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

(1)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担
すべき額を計上しております。

(2)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務を簡便法(退職給
付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法により計算し、計上してあり
ます。

(3)貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、発生から3年を超える債権については回収可能性
がないとして、全額引当金を計上しております。

5. 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

6. 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

該当なし

7. 担保に供されている資産に関する事項

担保に供している資産

建 物 2,989百万円

土 地 831百万円

計 3,820百万円

上記に対する債務

1年内返済予定借入金 329百万円

長期借入金 3,205百万円

計 3,534百万円

8. 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
役員及びその近親者	山本 芳子	当法人理事	借入	運転資金の借入 (注1)	800	役員従業員長期借入金	800
			支払利息	支払利息 (注1)	18	支払利息	18
			債務被保証	当社銀行借入に対する債務被保証 (注2)	1,901	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1)当法人の運転資金の不足において資金の融通を受けている、なお、借入条件は、返済期限令和12年一括返済、借入利率年2.5%

(銀行長期固定ローン金利を参考)としている。

(注2)当法人はシンジケートローン(主幹事みずほ銀行)の借入に対し、理事山本芳子より債務保証を受けている。なお、保証料の支払いは行っていない。

法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額(百万円)	事業内容	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
役員が支配している法人	株式会社ホンザン	神奈川県横浜市緑区中山町	4,769	医薬品卸業	借入金 (注3)	借入金	750	長期借入金	750
					支払利息 (注3)	支払利息	17	支払利息	17

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注3)当法人の運転資金の不足において資金の融通を受けている、なお、借入条件は、返済期限令和12年一括返済、借入利率年2.5%

(銀行長期固定ローン金利を参考)としている。

9. その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(1)有形固定資産の減価償却累計額 2,579百万円

(2)財務制限条項

借入金のうち、1年内返済予定の長期借入金329百万円及び長期借入金1,901百万円のシンジケート・ローンについては財務制限条項がついており、当該条項は以下のとおり

であります。

① 2013年3月期決算(当該期を含む)以降、各年度の決算期の末日における単体の貸借対照表上の純資産の部の金額を正の値に維持すること。

② 2013年3月期決算(当該期を含む)以降、各年度の決算期における単体の損益計算書に示される経常損益が、2期連続して損失とならないようにすること。但し、2015年3月期決算を除く。

(3)債務超過について

①債務超過の継続

下記のとおり、2016年3月期から5期連続して債務超過となっており、2020年3月期期末現在、△1,141百万円の債務超過となっています。

【貸借対照表】(一部抜粋)

単位:百万円

会計年度	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
借入金	5,872	5,793	5,883	5,183	5,083
(内役員長期借入金)	(90)	(590)	(500)	(600)	(800)
純資産の部	△53	△161	△701	△1,033	△1,141

②債務超過の要因

下記のとおり、経営成績の悪化によるものであります。

【損益計算書】(一部抜粋)

単位:百万円

会計年度	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
事業収益	3,416	3,691	3,723	3,755	3,926
事業費用	3,990	3,874	3,890	4,040	4,070
事業利益	△573	△183	△166	△284	△144
(参考)					
金利償却前利益	498	392	219	93	94
(内減価償却費)	(400)	(302)	(291)	(283)	(206)
元金返済額	231	399	399	399	399

事業利益は赤字基調なるものの、金利償却前利益は継続的に黒字を確保しておりますが、当初建設費の償却負担が重くのしかかっています。また、かわさき記念病院の患者確保の難しさが挙げられます。300床の認知症病院で利益を出すには、高稼働、高点数が求められます。今後は、紹介元の病院や施設などのエリアを拡大し、より一層の積極的な営業活動をします。また、グループのメリットを使って、採用の難しい専門職も内部から異動し増収策を実行します。花咲会はもちろん、横浜メディカルグループの最重要経営対策事項としてかわさき記念病院の経営改善に取り組んでいく所存です。

③経営者保証

「8.法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項」に記載の通り、当法人の社員兼理事である山本芳子氏より運転資金の融資を受けるとともに、当法人の銀行借入に対して債務保証を受けております。